

# 平成27年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

## 1 目的

キャリア教育を担当する指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育の在り方、校内外の連携を踏まえたキャリア教育推進のための具体的な手立て、キャリア教育の評価・改善方策について、必要な知識等を習得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が、受講者により行われることを目的とする。

2 主催 独立行政法人教員研修センター

3 共催 文部科学省

## 4 期間・会場

| 回   | 期間                             | 会場  | 都道府県  |
|-----|--------------------------------|---|---|
| 第1回 | 平成27年<br>5月11日(月)<br>～5月15日(金) | 独立行政法人教員研修センター<br>〒305-0802<br>茨城県つくば市<br>立原3番地 | 青森県、宮城県、山形県、茨城県、群馬県、千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、静岡県、三重県、京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県  |
| 第2回 | 平成27年<br>6月1日(月)<br>～6月5日(金)   | 同上  | 北海道、岩手県、秋田県、福島県、栃木県、埼玉県、東京都、新潟県、石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、滋賀県、大阪府、奈良県、鳥取県、岡山県、山口県、香川県、高知県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県 |

## 5 受講者

### (1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者。または、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師及びキャリア教育推進の指導者としての活動を行う者

### (2) 推薦人数

#### 【経営コース】

各都道府県(中核市分を含む。)においては2名以上、各指定都市においては1名以上とする。

#### 【推進コース】

各都道府県(中核市分を含む。)においては2名以上、各指定都市においては1名以上とする。

参加する校種が小学校以外のものは、担当教科(指導主事等にあっては希望教科)を備考欄に記載すること。

※ 各指定都市については、両コースあわせて3名以上とする。

なお、推薦に当たっては、①指導主事等、②校長・副校長・教頭、③教諭等をそれぞれ1名程度で、小・中・高の全ての校種を含むものとする。

### (3) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会において受講予定者を取りまとめ、「インターネット受講者登録システム」により、平成27年3月5日（木）までに推薦を行う。

### (4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教員研修センターが決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては独立行政法人教員研修センターにおいて調整を行う場合がある。

決定後人事異動等の理由で、変更、辞退がある場合は、速やかに教員研修センター本研修担当者まで連絡をすること。

## 6 研修内容 別紙「日程表」のとおり

※1～3日目：両コース共通

4～5日目：経営コースと推進コースに分かれて実施

（「地域や行政との協力体制の構築とキャリア教育の創造」、  
「研修講師となるために」及び閉講式は共通）

## 7 各コースの対象及び内容

### 【経営コース】

（対象）・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等  
・校長、副校長、教頭等

（内容） 演習等を通してキャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方やキャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

### 【推進コース】

（対象）・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等  
・主幹教諭、指導教諭、教諭

（内容） 演習等を通して各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

## 8 事前課題

演習で使用するため、受講者は事前に次の資料を作成する（別紙様式1、2）。提出方法等詳細については、決定通知の際に連絡する。

(1) キャリア教育を推進する上での課題について、資料を作成する。

(2) 職場見学・職場体験・インターンシップ等の実施に向けた事前指導3時間、事後指導3時間の内容等について、キャリア教育のプログラムを作成する。

なお、当センター、文部科学省及び国立教育政策研究所のホームページ上で公開している次の講義、報告書等を必ず参照し、上記資料を作成する。

### ○講義（映像配信）

『平成26年度キャリア教育指導者養成研修「キャリア教育の現状と本研修の進め方」』

※視聴のためのID等については、受講者決定の際に、各受講者に対して付与。

○「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（中央教育審議会答申）

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1301877.htm)

○学校が社会と協働して一日も早くすべての児童生徒に充実したキャリア教育を行うために

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/23/12/\\_icsFiles/afieldfile/2011/12/09/1313996\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/12/_icsFiles/afieldfile/2011/12/09/1313996_01.pdf)

## ○パンフレット

『キャリア教育の更なる充実のために』（教育委員会向け）

[http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/kyouiku\\_career/yakuwari.htm](http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/kyouiku_career/yakuwari.htm)

『学校の特色を生かして実践するキャリア教育』

[http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/23career\\_shiryoku/23career\\_shiryoku.html](http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/23career_shiryoku/23career_shiryoku.html)

『キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」』

<http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/design-career/design-career.html>

『学習意欲の向上を促すキャリア教育について』

[http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career\\_jittaityousa/career-report\\_pamphlet.htm](http://www.nier.go.jp/shido/centerhp/career_jittaityousa/career-report_pamphlet.htm)

## ○手引き

『小学校キャリア教育の手引き<改訂版>』

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/1293933.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1293933.htm)

『中学校キャリア教育の手引き』

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/1306815.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1306815.htm)

『高等学校キャリア教育の手引き』

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/career/1312816.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1312816.htm)

※上記の手引きは該当校種手引きが、全ての学校に2部配布してあります。

## 9 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。
- (2) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。
- (3) 本研修は、原則として宿泊研修とし、独立行政法人教員研修センター宿泊施設を利用するものとする。
- (4) 本年度の第1回の研修及び第2回の研修を連続して、受講を希望する者がいる場合には、受講者推薦前に、教員研修センターまで相談をすること。この場合、特別な事情がある場合は、第2回の1日目～3日目までの研修受講を免除する。